

地方公共団体名	石川県
所属部局 担当者名	生活環境部カーボンニュートラル推進課 担当：課長 齊藤 淳、主任主事 畠中 裕二
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能登地域は風況がよく、発電ポテンシャルが高いにもかかわらず、これが地域の脱炭素化や経済の活性化に活かされていない ・ 里山里海が能登の地域資源であり、トキ放鳥も予定しているため、今後、どのように再エネ施設と自然環境等との共存を図るか ・ 過疎地域のため、送電余力が少ないため、地大型再エネ施設を導入しても、地域への再エネの送電が難しい ・ 多雪地域のため、太陽光導入にあたっては、冬季の日照時間の低下や耐雪荷重のためのコストが障壁となっている <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊富な再エネポテンシャルを活かしたGX産業の集積等による震災からの復興 ・ 里山里海を活かしたロングトレイルや、二地域居住等を通じた関係人口の拡大 ・ 高齢化率が高く、将来のインフラの維持管理に係る財政負担の軽減のため、復旧・復興に合わせたインフラのダウンサイジング ・ 将来的なガソリンスタンドの減少や高齢化に伴う運転人口の減少を見据えたEVへの転換とシェアリングの推進 <p>【キーワード】</p> <p>自立・分散型エネルギー、風力発電、浮体式垂直軸型、マイクログリッド、オフグリッド、蓄電池、グリーンドライブ、ライドシェア、</p>

	EV、ソーラーカーポート、垂直パネル、再エネ環境価値の地域還元、サステナブル、ブルーカーボン、グリーンインフラ
地域のありたい未来	グリーンイノベーションの推進を通じた、自然と人、文化が共生する能登の創造的復興
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンイノベーション推進ファンドの創設と、その配当を活用したグリーン・ブルーカーボンの創出 ・ 再エネによるデータセンターなど電力の大量消費型産業及び蓄電池等関連産業の誘致 ・ 「のと復興応援でんき」を活用したスタートアップを対象とした事業共創プログラム実施 ・ 豊かな自然環境を活用したトレイルルートの整備とオフグリッド建築のモデルづくり ・ のと里山空港や鉄道駅の脱炭素化とモビリティハブ化 ・ 自立型発電と蓄電池型急速充電器の設置による道の駅のレジリエンス向上とグリーンドライブの推進 ・ EVとライドシェアを組み合わせた、移動・輸送サービスの実現
企業に求めたい内容	<p>上記の事業に係る協業提案や情報提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能登地域での再エネ電源の開発計画 ・ 電力消費型産業の工場等の立地計画 ・ スタートアップからの協業提案 ・ 建物のオフグリッド化技術